

御寄附をいただいた企業へのインタビュー



「文化財通信」では、寄附者様へのインタビューを通じて、京都の文化や文化財に対する想い、そして「文化財を守り伝える京都府基金」への御意見などをお聞きしています。

今回は平成28年度から御寄付を継続してくださっている大阪市の「日の出建設株式会社」様にお話を伺いました。



○ 日の出建設株式会社とは、どのような企業でしょうか。

弊社は、無線基地局設備の設計・施工、一般電気工事を中心とする電気通信工事部、不動産・住宅開発やリフォームを行う不動産開発事業部、ホテル経営を行うホテル事業部、レアメタルを中心とする資源リサイクル事業部、また、グループ会社の看板・のぼりの製造販売会社、コンサルティング会社、金融会社を通じ、一気通貫でお客様に最適のソリューションを提供させていただいております。

『全従業員・ステークホルダー様・お客様、皆様が日の出のように明るく毎日をご過ごす』という想いがこめられたロゴマーク

○ 企業版ふるさと納税を活用した京都府地域創生推進事業「文化レジリエンス事業」へ御寄附いただいた理由について教えてください。

平成28年度に当時事業を御担当されていた部署の課長様とご縁をいただき、当事業の意義をご説明いただきました。

文化財という日本社会全体の財産を後世に伝えるという崇高な事業理念に弊社が末席ながら参画させていただければと、また、少しでも当事業のお役に立てるならという想いで寄付を続けさせていただいております。



○ 文化財所有者の皆さんへメッセージをお願いします。

京都のみならず、日本の財産をご維持くださっていること、深く感謝申し上げます。

弊社が少しでもそのお手伝いをさせていただけることを光栄に思っております。



感謝状贈呈式の様子